

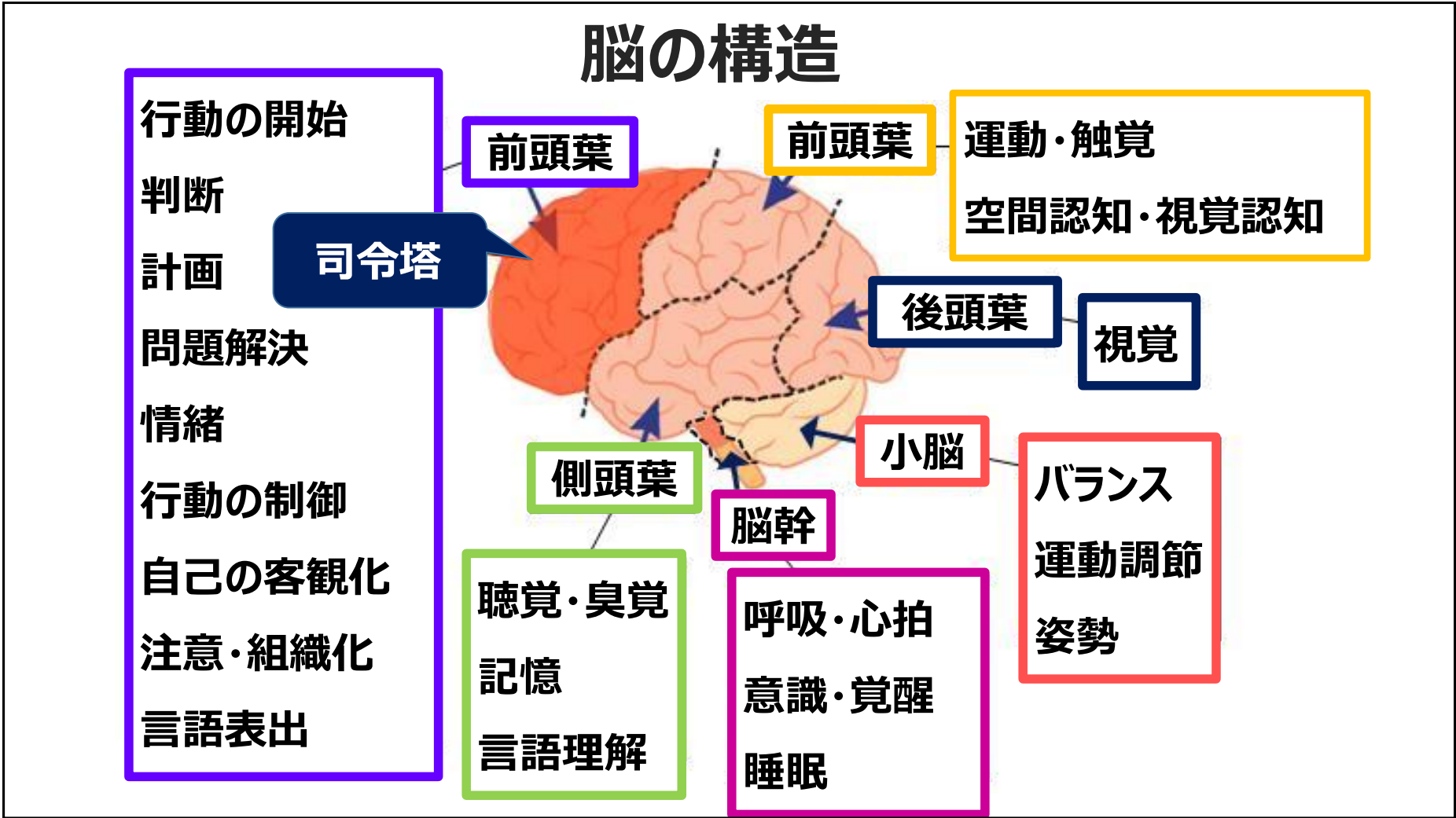
15分で学ぶ！ 障がい者支援の基礎 ～てんかん～

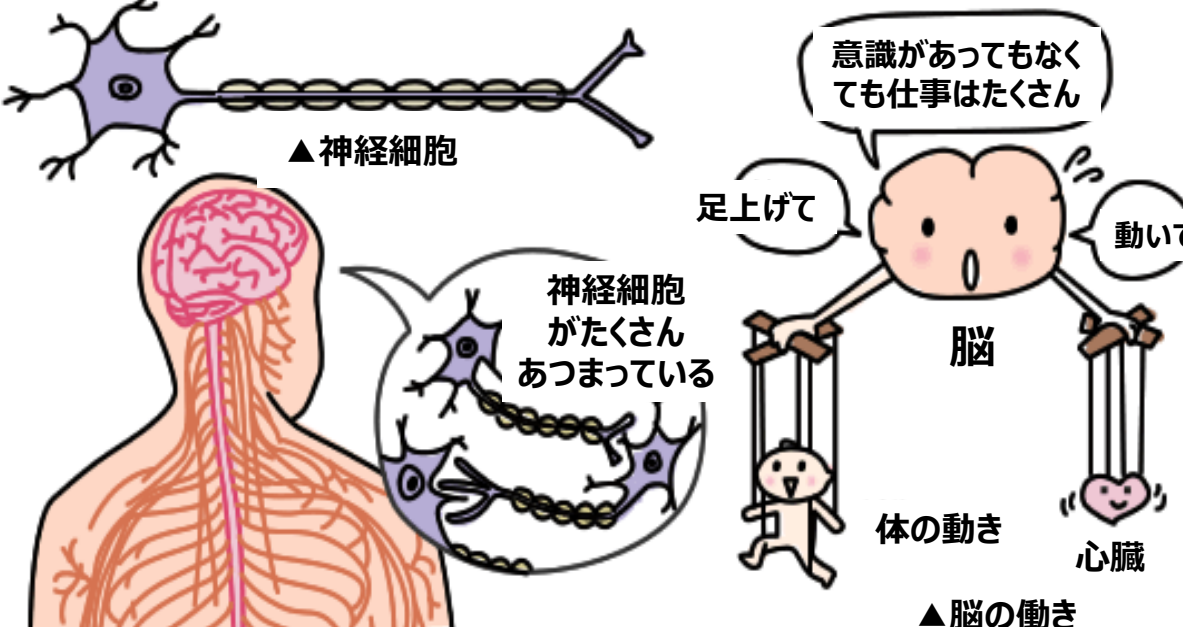
第一回 「てんかん」とは」

てんかんとは



**大脳の神経細胞が過剰に興奮することで、
様々な発作を引き起こす病気**





▲神経細胞

意識があってもなくても仕事はたくさん

足上げて

動いて

脳

体の動き

心臓

▲脳の働き

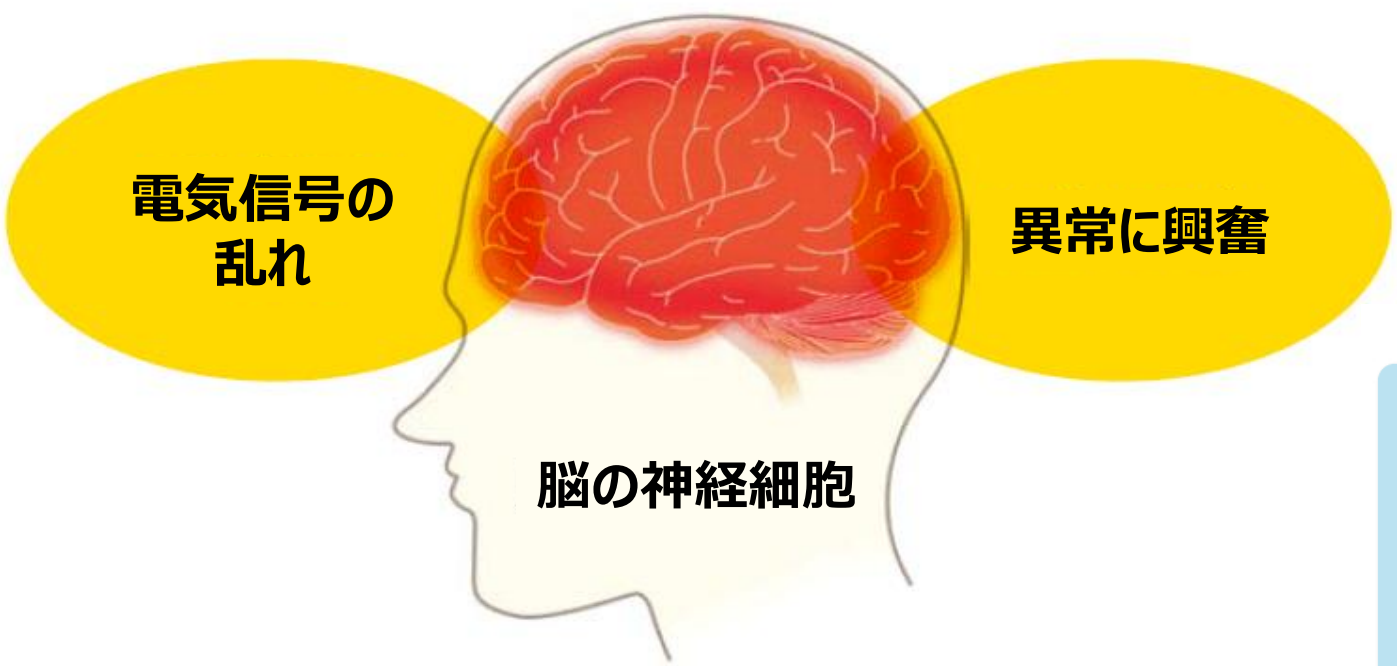
神経細胞がたくさんあつまっている

「てんかんのおともだち」 ミネルヴァ書房

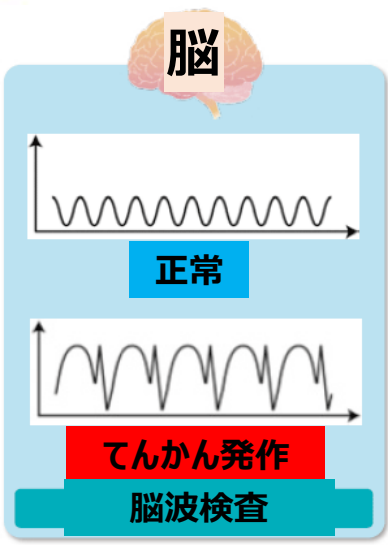
神経細胞は電気をを使って情報伝達する

人間の体には、神経が張りめぐらされ、その神経の中を弱い電気信号が通ることによっていろいろな情報が伝達される。脳には神経細胞が集合し、これらの情報を処理してるが、脳内の電気信号が何らかの原因で一斉に過剰に発生すると、その部位の脳の機能が乱れ、脳は適切に情報を受け取ることや、命令ができなくなり、体の動きをコントロールできなくなる。

なぜ、てんかん発作は起こるのでしょうか？

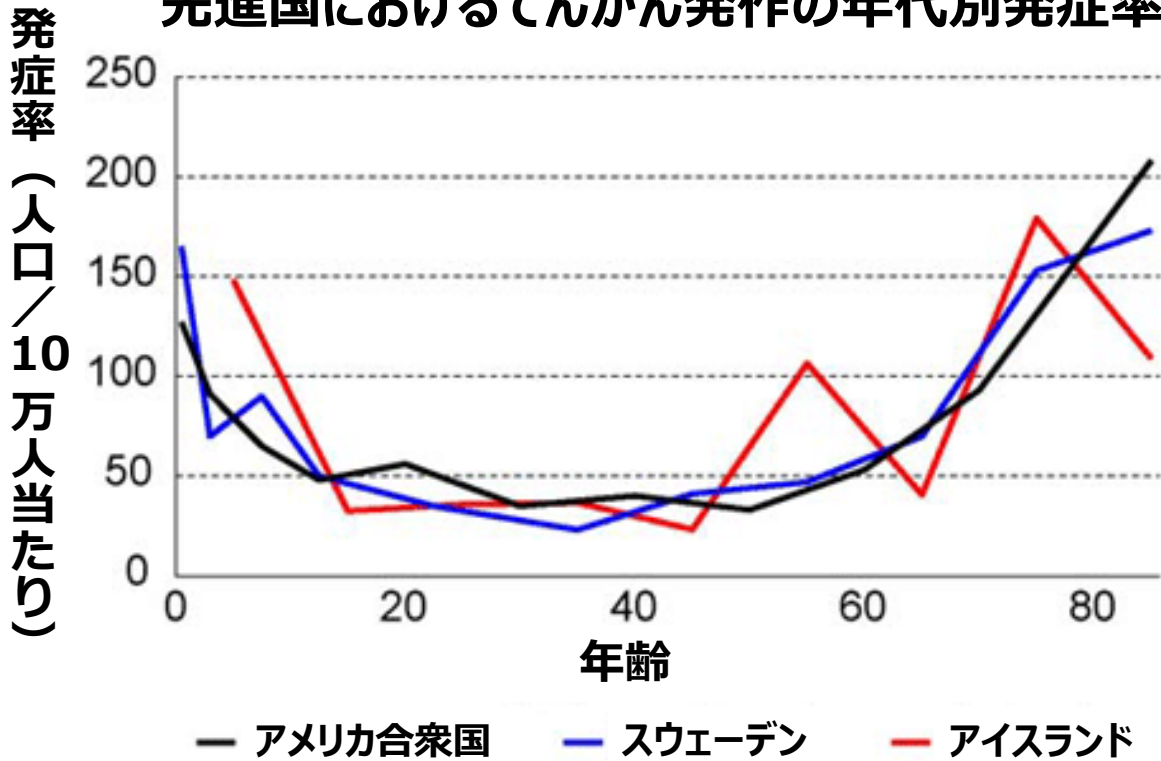


脳内に電気信号の乱れが生じ、
神経細胞が異常に興奮することで起こります。



あらゆる年齢で発症します

先進国におけるてんかん発作の年代別発症率



子どもだけではなく、
高齢でも発症する

Epilepsy Research; 685: S39-S48, 2006.

てんかんとは… 脳神経系の病気

発作

慢性的に
繰り返し起こる

約 1 人
100人

日本の患者数
約100万人

脳の
慢性疾患

ごくありふれた病気

原因は…

- ・ **100万人の患者のうち
怪我・脳血管障がい・先天性の脳奇形などの
原因があきらかな患者は全体の 1 / 3**
- ・ **遺伝はあまり関係ない**
- ・ **原因不明なものが多い**

発作の誘因

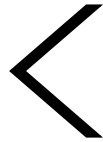
- ・薬の飲み忘れ
- ・ストレス
- ・睡眠不足
- ・疲労
- ・温度（急激な体温の上昇）
- ・発熱
- ・月経
- ・てんかん治療薬以外の薬の影響
- ・特殊な誘因として光・音・身体の接触などの刺激もある

規則正しい生活を

発作が起こりやすい状況は？

起こりにくい

集中、緊張しているとき



起こりやすい

ほっとしたとき

ぼんやりしているとき

- ・発作が起こりやすい時間帯が決まっている人がいる
(例：入眠直後、寝起き直後、睡眠中など)
- ・一般的には、ほっとしたときなどの方が起こりやすいとされる
- ・発作のパターンを持つことが多い

てんかん発作は治るのか？

- ・薬による治療が中心
- ・約 6 0 ～ 7 0 % の人は適切な薬を服用することで発作をコントロールすることができる
- ・「難治性てんかん」と呼ばれる一部のてんかんは薬でのコントロールが難しい場合がある。

多くの人たちが普通に社会生活を営んでいます

てんかんと間違われやすい発作

- 熱性けいれん**・・・ 1歳から5歳で起こしやすい。通常38度以上の熱が出た初日に全般性強直間代発作を起こす。
- 失神**・・・・・・・・ 一過性の意識消失発作。後遺症を残すことはないが、倒れた際に外傷を負う場合がある。
- 心因性発作**・・・ 発作の症状はてんかん発作とよく似ているが脳波を測定しても異常は見られない。
- チック**・・・・・・・・ ある限局した一定の筋肉群に、突発的、無目的に、しかも不随意に急速な運動や発声が起こるもの。
- 急性症候性発作**・・・ 脳梗塞、脳卒中など脳器質的病変、薬物中毒、低血糖など代謝疾患の発症直後に起こる全身痙攣

心因性発作

脳波の異常は見られない。

精神的なストレスが原因で、てんかんと似たような症状を起こす。

てんかんをもっている人、軽度の知的障がい、女性に多い。

真性の発作なのか心因性発作なのか明確な区別が必要。

＜治療＞

発作時の対処方法の習熟、問題となる周囲の環境の改善、抗不安薬などの投与が有効な場合もある。

＜特徴＞

てんかん発作とは違い、症状が毎回同じ経過をたどらず、一定しない。発作後のもうろう状態がなく、ボーッとしているのに意図的な行動ができる。

てんかんと差別

社会的障壁・差別

「恥ずかしい病気だから」

「知られれば家族に迷惑がかかるから」

「就職できない」…

てんかん患者に持つ負のイメージ

あいまいな知識から不安を助長し、過剰に危険視

合理的配慮が求められる